

# might

リチウムイオンバッテリー式  
電源装置

LDP2502-IVU

取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。



マイト工業株式会社

## 目次

はじめに	2
取扱い上の注意	2
1. 製品仕様	3
2. 構成・各部名称	4
2-1 本体構成	4
2-2 操作パネル	5
2-2-1「充電制御パネル部」の各部名称	
3. 基本的な操作	6
[1] バッテリー電源として使用する場合	
[2] UPS 電源として使用する場合	
[3] 充電動作	
4. リチウムバッテリーについて	8
5. ソーラーパネル接続について	8
6. インバータの各種設定と設定変更方法について	9
6-1 「インバータパネル」の各種名称	
6-2 インバータパネルの表示説明	
6-3 インバータの初期設定	
6-4-1 【商用電源優先(UPS)モード】と【インバータ優先モード】について	
6-4-2 【セーブモード】について	
6-5 インバータ設定の変更方法	
7. 車輪ストッパーについて	12
8. 外形寸法図	12
9. 付属品/オプション部品について	13
9-1 防滴カバー（標準添付品）	
9-2 専用『吊り下げ金具』（別売品）	

外形寸法図

保証書

## はじめに

このたびはリチウムイオンバッテリー式電源装置『LDP2502-IVU』  
をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。

本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。

本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。

取扱説明書はいつでもご覧頂けるように大切に保管してください。

## 取り扱い上の注意



- ・ 分解したり、改造したりしないでください。本機の改造による事故、部品を取り外した状態で使用した事故等については、一切の責任を負いません。
- ・ 本機が変形、または損傷した場合は、直ちに使用を中止し、購入店、または弊社までご連絡ください。
- ・ 落下などで強い衝撃が加わった場合、損傷がなくても点検に出してください。
- ・ 電源コードやケーブルを抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。
- ・ コード類に重いものを載せたり、引っ張ったり、傷を付けないでください。もし亀裂等がありましたら、速やかに修理、または交換してください。
- ・ 運搬時はバッテリーボックス部を持ってください。またクレーン等で吊り上げるときは、バッテリーボックス部の底からワイヤー等でしっかり固定し、吊り上げてください。4ヶ所のパッチン錠が外れ、バッテリーボックス部が落下する恐れがあります。(専用吊り下げ金具を使用しない場合)



- ・ 本機から発火した場合は、絶対に水をかけないでください。引火爆発を引き起こす恐れがあります。石油火災消火用消火器等で消火してください。
- ・ 湿気やホコリ、油煙、湯気の多い場所で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- ・ 異常に高温な場所、直射日光が当たる場所に放置しないでください。変形や故障の原因となります。
- ・ 海辺(塩害)や砂地での使用は、砂塵が原因で故障し、修理ができない場合があります。
- ・ 本機は固い場所に水平に設置し、不安定な場所では使用しないでください。傾斜した状態になると転倒破損の原因となります。
- ・ 本機に座ったり、重たいものを載せないでください。ケースカバーが破損する恐れがあります。
- ・ 使用後は必ず充電を行ってください。

# 1 製品仕様

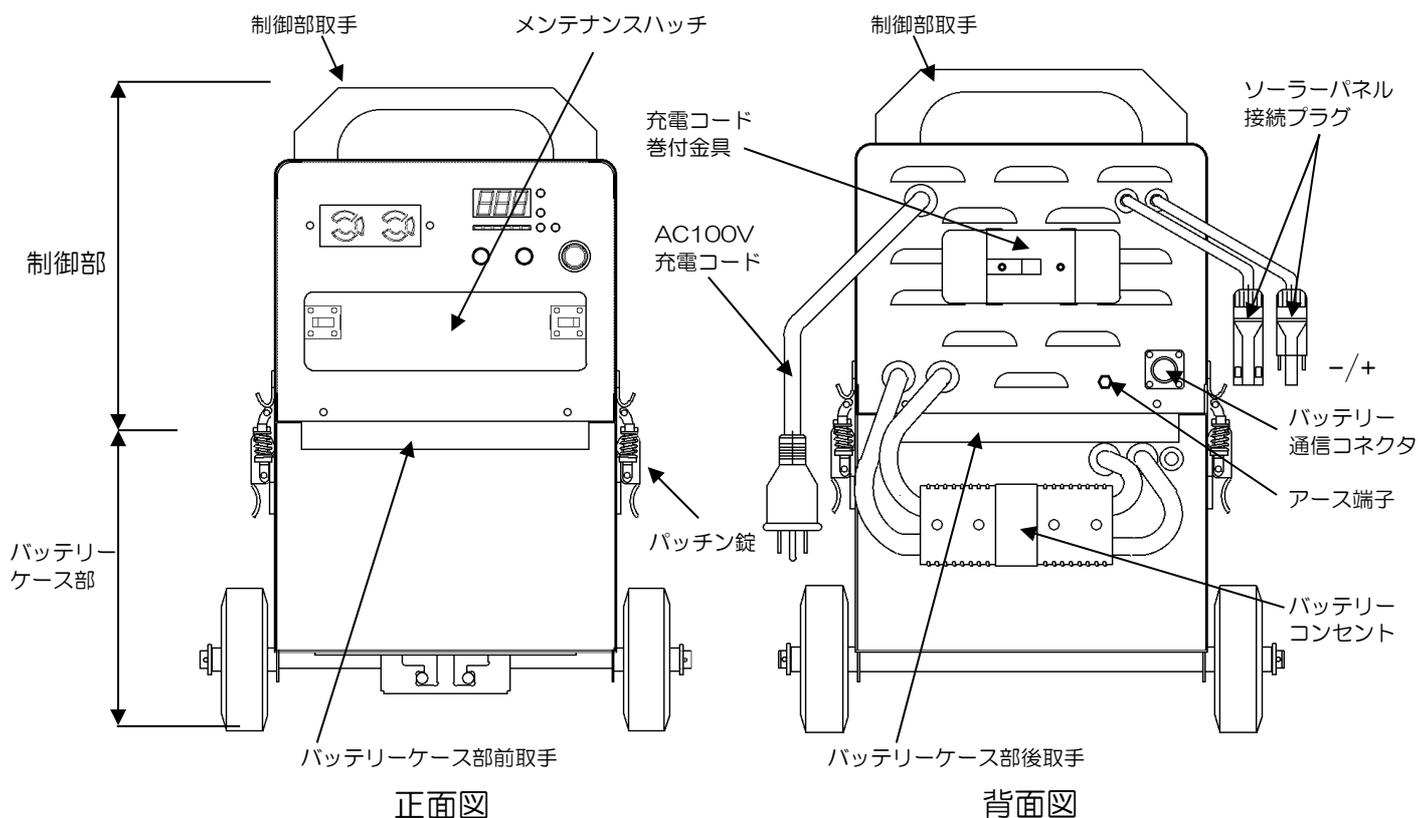
本機は『リチウムイオンバッテリー式電源装置』です。

製品名称		リチウムイオンバッテリー式電源装置	
製品型式		LDP2502-IVU	
入力部	充電器制御部	充電入力定格 充電定格 充電方式 冷却方式 充電時間の目安	交流 100V (50/60Hz) / 700W 直流 28.0V / 最大 18A 定電流定電圧 (CVCC) 強制冷却 残量 0%の状態から約 5~6 時間 (バッテリーの状態によります/周囲温度 20℃/新規購入時)
	ソーラーパネル 充電部	PV 開放電圧 PV 入力電圧範囲 PV 最大充電電流 PV 接続コネクタ PV 充電電圧 PV 充電開始電圧	DC45.0V (開放電圧) DC30.0V~DC45.0V (動作電圧) 30A (Max) MC4 (+/-) DC28.5V±4.0% DC26.5V±4.0%
電池部	バッテリー部	バッテリー種類 定格電圧 定格容量 バッテリー制御	リチウムイオンバッテリー DC25.6V (8 直列) 2560Wh (100Ah×25.6V) バッテリーセルバランス制御
出力部	インバータ 出力	定格電力 最大出力 (3 分間) 最大出力 (10 秒間) 最大出力 (0.2 秒以下) 出力波形 (歪率) 最大効率 定格出力電圧 出力周波数	1500W 1725W 2250W 3000W 正弦波 (歪率 3%以下定格、負荷抵抗時) 89% AC100V±3% (110V/115V/120V 設定可能) 50/60Hz (切替可能/±0.1%)
		UPS 機能 切替時間	初期設定は UPS 設定 (設定変更可能) 10ms 以下
動作時周囲温度		(充電時) 0℃~+35℃ / (出力時) -10℃~+35℃	
保管時周囲温度		0℃~35℃	
外形寸法 (mm)		(制御部+バッテリー部) 450(H)×340(W)×600(D)	
質量 (kg)		(制御部+バッテリー部) 45.0kg (16.0kg+29.0kg)	
付属品		防滴カバー (透明ビニール製)	
オプション		【別売品】吊り下げ金具「オプション部品」をご参照ください)	

※氷点下では使用できる時間が減少します。

## 2 構成・各部名称

### 2-1 本体構成



- |              |                                 |
|--------------|---------------------------------|
| メンテナンスハッチ    | インバータを直接操作する場合に開きます。(P.9 参照)    |
| AC100V 充電コード | 充電時 (UPS 動作時) に商用電源コンセントに接続します。 |
| 充電コード巻付金具    | 充電コード未使用時に巻き付けます。               |
| ソーラーパネル接続プラグ | ソーラーパネルを接続します。(規格: MC4)         |
| バッテリー通信コネクタ  | バッテリー通信ケーブルを接続します。(※2)          |
| バッテリーコンセント   | バッテリー部と制御部を接続します。               |
| パッチン錠        | 制御部とバッテリーケース部を固定します。            |
| 制御部取手        | 制御部運搬用取手。                       |
| バッテリーケース部取手  | バッテリーケース部運搬用取手。(※3)             |
| アース端子        | 本体アースが必要な場合にアース線を取り付ける端子です。     |

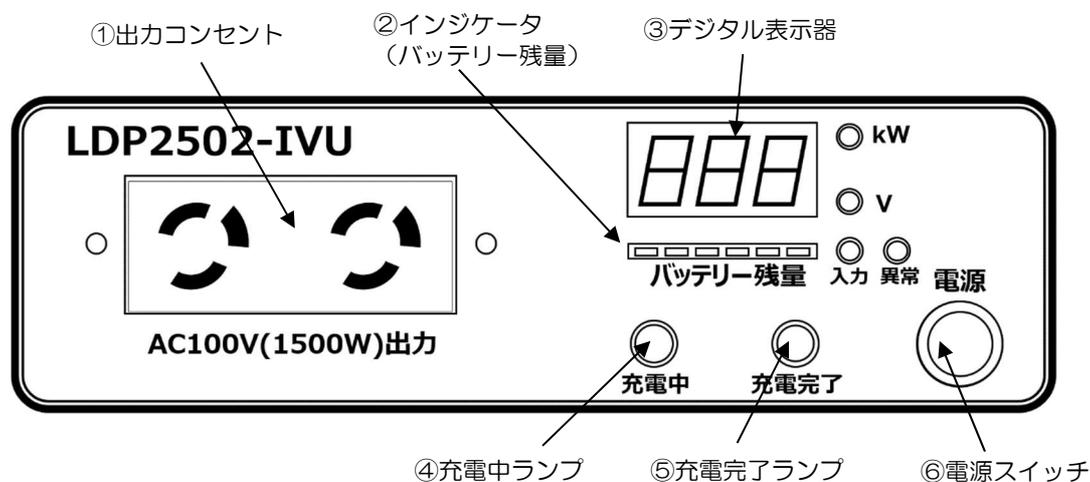
※1 本機の制御部とバッテリーケース部はセットで使用し、他の機器のバッテリーケース部と入れ換えたりしないでください。やむおえずバッテリーケース部を入れ替える場合は容量値をリセットさせるため必ず満充電まで充電をしてください。

※2 本機を動作させる時は必ず「バッテリー通信ケーブル」を接続してください。

※3 本機全体を持ち上げる時は「バッテリーケース部取手」を使用してください。

## 2-2 操作パネル

### 2-2-1 「充電制御パネル部」の各部名称



- ① 出力コンセント . . . . . AC100V 出力コンセントです。  
充電コード挿込時は商用電源がそのまま出力され、抜くと自動でインバータからの AC100V 出力に切り替わります。
- ② インジケータ . . . . . バッテリーの残容量を 20%単位で表示します。  
(バッテリー残量計) (0%時は LED"赤"のみ点灯、100%時は LED 全点灯)
- ③ デジタル表示器 . . . . . 電源スイッチ ON 時はバッテリーからの消費電力(kW)を表示します (kW 点灯)。  
充電時はバッテリー電圧を表示します (V 点灯)。  
異常時には内容を表示します (異常点灯)。  
(※商用電源が出力されている時は直送のため kW 表示が 0 になります。)
- ④ 充電中ランプ (橙) . . . . . 充電動作中に点灯します。
- ⑤ 充電完了ランプ (緑) . . . . . 充電完了時に点灯します。
- ⑥ 電源スイッチ . . . . . 本機の「電源」スイッチです。

※「入力」LED は AC100V 充電コードの入力が正常時 (AC85V 以上) に緑点灯します。  
入力電圧が AC85V 以下に低下した場合は赤点滅になります。  
赤点滅を表示した場合は別のコンセントで充電をしてください。

### 3 基本的な操作

#### [1] バッテリー電源として使用する場合

(「AC100V 充電コード」を商用コンセントに接続しないで使用する場合)

(1) 「電源」スイッチを押すと(電源スイッチ“黄”点灯)起動します。

(2) 「出力コンセント」にご使用になる電気製品のプラグを挿し込んで使用してください。

デジタル表示器に消費電力(Kw)が表示されます。

※ 消費電力 1500W 以下の機器でご使用ください。

※ バッテリー残容量が 0%になるとインバータ出力を停止して【Lov】(バッテリー電圧低下)を表示します。速やかに充電を行ってください。

※ 消費電力 10W 以下の場合には消費電力が表示されない場合があります。

#### 《注意》[オートオフ機能]

バッテリーが保護電圧を下回った場合もしくは【Lov】を約 16 時間以上放置させると、バッテリー保護の為自動的に「電源」が OFF になり全表示が消灯します。

オートオフ機能は AC100V 充電コード充電する事により解除できます。

ご使用後は必ず「充電完了」までバッテリーを充電した後、「主電源スイッチ」を OFF にして保管してください。

#### [2] UPS 機能として使用する場合

(AC100V 充電コードを商用コンセントに接続して使用する場合)

(1) 「電源」スイッチを押して(電源ランプ“黄”点灯)インバータを起動します。

(2) 「出力コンセント」にご使用になる電気製品のプラグを挿し込んで使用してください。

**商用電源が直接出力されるため、デジタル表示器の消費電力は 0.00 で表示されます。**

充電コードを抜くと消費電力が表示されます。

※ 消費電力 1500W 以下の機器でご使用ください。

※ 停電時には自動的にバッテリー電源に切り替わります。

インバータのモード設定により「商用電源優先モード(UPS モード)」と「インバータ優先モード」を選択できます。  
(初期設定は「商用電源優先モード」です。)

※ 「パワーセーブモード」が ON の場合、インバータ出力が無い(出力負荷が約 5W 以下)の時にインバータを自動停止します。(バッテリーの自己消費を抑える為です。)

(初期設定は「セーブモード:OFF」です。)

インバータの各モードの詳細については後述の「5.インバータの設定について」を参照してください。

### [3] 充電動作（商用電源による充電）

AC100V 充電コードを商用電源コンセントに挿し込むと「充電中」ランプが点灯し自動的に充電が開始されます。（プラグイン・スタート）

- ・「電源」スイッチの「入」「切」にかかわらず、自動的に充電を開始します。
- ・充電中のデジタル表示は、電源スイッチが ON の状態では「出力電力（kW）」を電源スイッチが OFF の状態では「バッテリー電圧（V）」を表示します。
- ・満充電時は「充電完了」ランプが点灯し自動的に充電を停止します。

充電中に、異常ランプ点灯と共にデジタル表示器に以下のエラーが表示されることがあります。

**CH9**

**チャージエラー** … 充電が正常にできていません。

充電電圧が低下している可能性がありますので

別のコンセントで充電してください。

機器の内部温度が上昇して充電を停止している可能性がありますので、場所を変えて充電してください。



注意

- ・電源より距離があるためにコードリール(15Aのもの)を使用する時は、コードリールを巻いたままの使用は避けてください。コードリールが過熱し、焼損の原因となります。中継コードは、太さ(導体公称断面積)2.0mm<sup>2</sup>以上のものを、最大長さ20mでご使用願います。
- ・本機を充電中、家や工場の電源ブレーカーが切れるときは、同じ電源回路に冷・暖房機や、その他の電気器具が使用されて、容量不足になっている可能性があります。（または、ブレーカーそのものが古いことや、容量が小さいこともあります。）確認して他の負荷のない回路の電源コンセントを使用してください。
- ・感電防止のため、AC100V充電コードは必ず接地してください。

### [4] ソーラーパネルによる充電動作

「ソーラーパネル接続プラグ」に定格のソーラーパネルを接続して「電源」スイッチを **ON** にする事により、ソーラー充電が可能となります。

- ・ソーラー充電中は「充電中」ランプが点灯します。また、ソーラー充電量が消費電力量を上回る場合には、デジタル表示器に【SOL】（ソーラー充電）の文字と、ソーラーパネル充電量（kW）が交互に表示されます。
- ・満充電時には「充電完了」ランプが点灯して自動的にソーラーパネル充電が停止します。充電完了後にバッテリー電圧が一定量下がると自動的にソーラー充電が再開されます。

※ 充電が（発電量）約 150W 以下の場合、充電ランプ/SOL は点灯せず、デジタル表示器に 0.00 が表示されます。

充電完了直前も同様の動作となります。

## 4 リチウムバッテリーについて

### (1) 【組み込み専用】バッテリーです

本機のリチウムバッテリーパックは組み込み専用ですので、お客様でのバッテリー交換はできません。リチウムバッテリーに異常が見られる時は購入店又は弊社までご連絡ください。

### (2) リチウムバッテリーの特性とご使用上の注意

リチウムバッテリーは鉛電池と比較して、高容量で比較的軽量であり、電圧降下が少なく、低温環境でも使用できるなど、優れた特性を持つバッテリーですが、運用には以下の点にご注意ください。

**残量 0%のまま放置するとバッテリー自体が損傷して使用できなくなる可能性があります。**

リチウムバッテリーには最高電圧と最低電圧が決められており、最低電圧を下回って放電すると【過放電】、バッテリー内のリチウムが結晶化し内部の破壊が進み使用できなくなります。ご使用後バッテリー残量 0%の状態で放置すると、自然放電により過放電に陥る可能性がありますので、ご使用後は速やかに充電を実施してください。

また、本機をご使用にならずに長期保管される場合も、必ず 1 カ月に 1 度『充電』を行ってから保管してください。

本機に搭載されているのは専用充電ユニットです。本機以外の物を用いて充電を行うと、発熱や発火などを起こす可能性があります。本機以外で充電しないでください。

## 5 ソーラーパネル接続について

本機に接続可能なソーラーパネルは以下の仕様を満たすものでなければなりません。

PV 開放電圧 (Max)	DC45.0V
PV 充電電流	30A Max
PV 入力電圧範囲	DC30.0V~DC45.0V (動作電圧)
接続コネクタ	MC4

※注) ソーラーパネルを本機に接続する場合は、ソーラーパネルに覆いを被せて発電しないようにした状態でコネクタを接続してください。接続した後に、ソーラーパネルの覆いを外してください。

ソーラーパネル接続用コネクタのタイプは「MC4」です。

**±極側と一極側を間違えずに接続してください。**

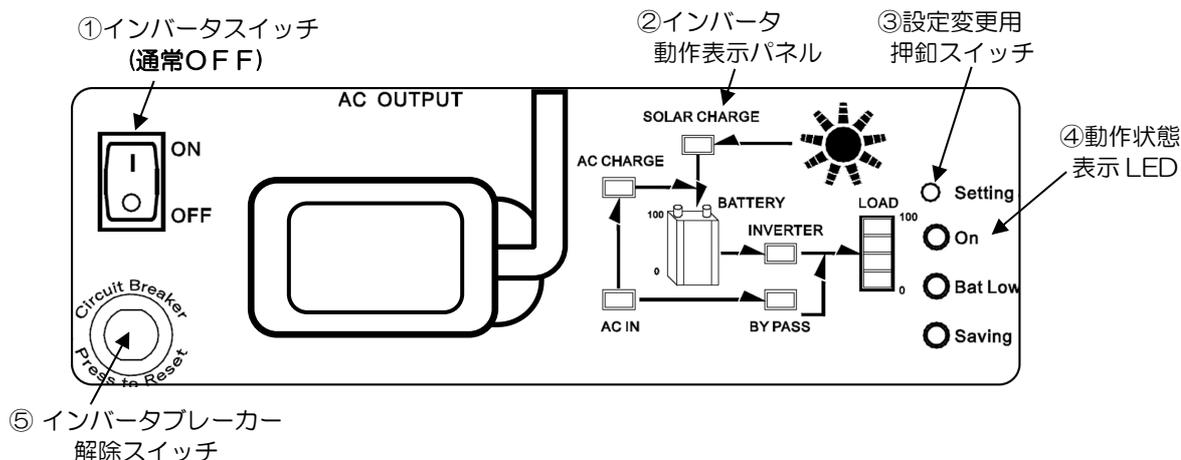
ソーラーパネルからの充電状況は「インバータ動作表示パネル」で確認できます。ソーラーパネルの電圧が「DC30.0V~DC45.0V」で充電を開始します。

ソーラー充電中は「充電中」ランプが点灯します。また、ソーラー充電量が消費電力を上回る場合には、デジタル表示器に【SOL】(ソーラー充電)の文字とソーラーパネル充電量(kW)が交互に表示されます。

## 6 インバータの各種設定と設定変更方法について

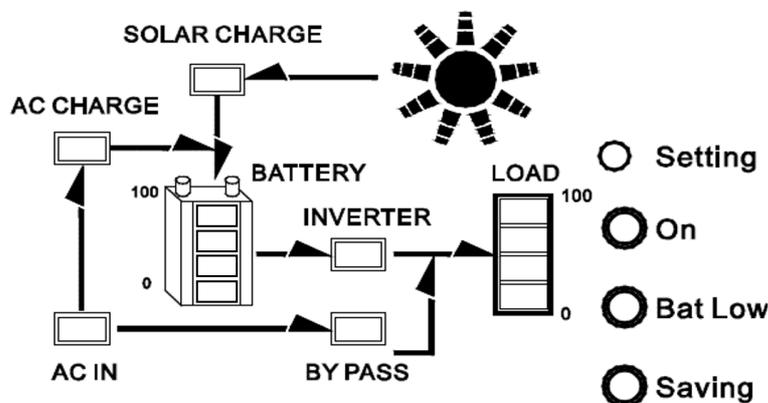
### 6-1 「インバータパネル部」の各部名称

(「メンテナンスハッチ」を開けて確認してください)



- ① インバータスイッチ・・・インバータの制御スイッチです。通常は OFF にしてください。
- ② インバータ動作表示パネル・・・インバータの動作状況を表示します。(下記参照)
- ③ 設定変更用押釦スイッチ・・・インバータの設定を変更するスイッチです。(P.11 参照)
- ④ 動作状態表示LED・・・インバータの動作状態を表示するLEDです。(下記参照)
- ⑤ インバータブレーカー・・・過剰出力によるインバータ保護回路(ブレーカー)の作動を解除するスイッチ

### 6-2 インバータパネルの表示説明



#### (6-2-1)動作状態の表示

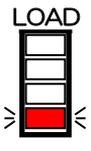
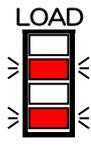
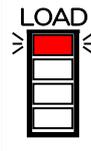
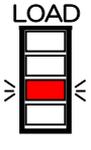
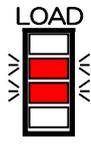
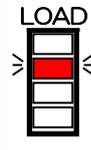
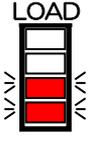
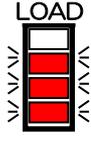
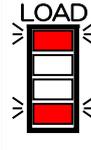
「On」	“赤”点灯	インバータ正常動作中
「Bat Low」	“橙”点灯	バッテリー電圧低下の場合、警告音と共に点灯
「Saving」	“緑”点灯	パワーセーブモード(5W以下の負荷の場合、インバータ出力を停止)

※「パワーセーブモード」についてはP.9の〔5-4-2〕を参照

#### (6-2-2)LED モニターの表示

AC CHARGE	商用電源からの充電時に点灯します
SOLAR CHARGE	ソーラーパネルからの充電時に点灯します
AC IN	商用電源に接続されると点灯します
BY PASS	出力コンセントに商用電源が出力されている時に点灯します
INVERTER	出力コンセントにインバータから出力されている時に点灯します
Battery	バッテリーの使用可能電圧を4段階で表示します
LOAD	負荷出力の容量レベルを表示します

(6-2-3)保護回路動作時の「LOAD」の表示と対応

	<p>過負荷停止エラー (1500W~1750W)</p> <p>負荷を外して使用してください</p>		<p>AC 出力電圧異常 (出力電圧が高いか低い時)</p> <p>負荷に異常がないか確認してください</p>		<p>バッテリー状態異常 バッテリー寿命など</p> <p>バッテリーコンセントを外しメーカーにご連絡ください</p>
	<p>過負荷停止エラー (1750W~1875W)</p> <p>負荷を外して使用してください</p>		<p>AC 出力短絡時</p> <p>負荷に異常がないか確認してください</p>		<p>高温エラー (内部 85℃以上)</p> <p>使用を中止し本機を冷やしてください</p>
	<p>過負荷停止エラー (1875W 以上)</p> <p>負荷を外して使用してください</p>		<p>バッテリー電圧異常 (BT 電圧が高いか低い時)</p> <p>バッテリー電圧を確認してください</p>		<p>インバータ 内部 FAN 故障 (異常発生時)</p> <p>使用を中止しメーカーにご連絡ください</p>

6-3 インバータの初期設定

機能モード	出力電圧	パワーセーブ
商用電源優先モード	AC100V	OFF

6-4-1 【商用電源優先モード】(UPS モード) と【インバータ優先モード】について

【商用電源優先モード】(UPS モード)

商用電源を優先してバイパス出力します。商用電源が途切れた時、バッテリーから供給される電力に切り替わり、インバータから AC100V を出力します。

(UPS 機能/切替時間 10ms 以下)

(初期設定：商用電源優先モード (UPS モード))

【インバータ優先モード】

バッテリー電力でのインバータ出力を優先して出力します。バッテリー電圧が低下 (22.0V) してから、商用電源バイパス出力に切替ります。バッテリーの充電が進んで満充電 (28.5V) になると、インバータ出力優先に戻ります。

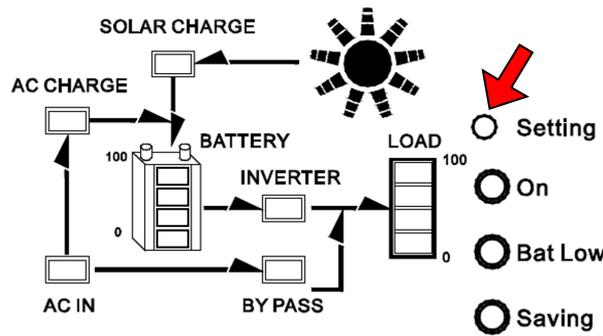
6-4-2 【セーブモード】について

負荷出力が 5W 以下の場合に、インバータ出力を停止してバッテリーの自己消費を抑えるモードです。5W 以上の負荷が接続されるまでインバータから AC100V は出力されません。

【パワーセーブモード】は設定で (ON/OFF) を切換え可能です。(初期設定：OFF)

※ 各モードの設定方法は「6-5.インバータ設定の変更方法」(P.11) を参照ください。

## 6-5 インバータ設定の変更方法



- (1) 主電源スイッチを OFF にします。
- (2) 絶縁された樹脂などの細い棒で「Setting」（上図矢印部分）ボタンを押しながら主電源スイッチを ON にすると全ての LED 表示が点滅した後、約 5 秒後に Beep 音が鳴ります。
- (3) 再度「Setting」ボタンを押して目的のモードに設定します。

「Setting」ボタンでどちらかを選択します。（以下同様の手順）

	On	Bat Low	Saving
商用電源優先モード	消灯	橙点滅	緑点滅
インバータ優先モード	赤点灯	橙点滅	緑点滅

- (4) 「Setting」ボタンを 3～5 秒長押しすると Beep 音が鳴り「モード」が記録されます。
- (5) 次に「出力電圧」を設定します。「Setting」ボタンを押す毎に表示が切り替わりますので、目的の設定値に表示を合わせます。

周波数	出力電圧	On	Bat Low	Saving
50Hz	AC100V	赤点灯	消灯	消灯
	AC110V	赤点灯	消灯	緑点灯
	AC115V	赤点灯	橙点灯	消灯
	AC120V	赤点灯	橙点灯	緑点灯
60Hz	AC100V	赤点滅	消灯	消灯
	AC110V	赤点滅	消灯	緑点灯
	AC115V	赤点滅	橙点灯	消灯
	AC120V	赤点滅	橙点灯	緑点灯

- (6) 「Setting」ボタンを 3～5 秒長押しすると Beep 音が鳴り「出力電圧」が記録されます。
- (7) 次に「セーブモードの設定」をします。「Setting」ボタンを押す毎に設定値表示が切り替わりますので、目的の設定値に表示を合わせます。

	On	Bat Low	Saving
セーブモード ON	赤点滅	橙点滅	緑点灯
セーブモード OFF	赤点滅	橙点滅	消灯

- (8) 「Setting」ボタンを 3～5 秒長押しすると Beep 音が鳴り「セーブモード」が記録されます。
- (9) 各設定が完了した後、直ちにインバータが再起動します。

※ 現在の設定状況は上記手順により【LED】表示にて確認してください。

※ 出荷時の設定は灰色塗となります。（周波数はメンテナンスハッチ裏に貼付）





# 保証書

このたびは「リチウムバッテリー式電源装置」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。お買い上げいただいた製品につきましては、次の通り保証いたします。

1. 保証期間  
無償保証修理を受けられる期間はお買い上げから本体は1年間、リチウムバッテリーは2年間と致します。
2. 保証内容  
保証期間に通常の使用状態で本機を構成する部品に材料または製造上の不具合が発生し、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、修理を無償でいたします。
3. 保証の適用除外  
次に示すような場合は保証期間内であっても有償修理となります。
  - ① 取扱説明書に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検、保管方法を行われていなかったために生じた故障
  - ② 弊社が示す仕様の限度を超えて使用したために生じた故障
  - ③ 弊社が認めていない改造・変更が原因となって生じた故障
  - ④ 弊社のサービス指定工場及び弊社が認めたところ以外で修理し、それが原因で生じた故障
  - ⑤ 弊社の純正部品以外の部品を使用したために生じた故障
  - ⑥ 時の経過による変化（塗装面・メッキ面の自然退色、発錆など）
  - ⑦ 一般的に品質、機能及び安全上に全く影響がないと認められる音、振動、外観上の軽微なキズなど
  - ⑧ 自然災害または事故、過失、不注意による本機の損傷
  - ⑨ 一般消耗品等で使用上における自然摩耗と認められるもの
  - ⑩ 製品が日本国外で使用された場合
4. 注意事項
  - ① 本保証書の提示なき場合または記載内容の不備、あるいは改定のある場合は保証しかねる場合があります。
  - ② 本機の故障に起因するまたは関連するあらゆる損失及び費用は保証の範囲から除外させていただきます。

保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

機種(型式名)：LDP2502-IVU		製造番号：
お買い上げ日：		
お客様	お名前：	
	ご住所：	
	TEL：	
販売店様	住所：	
	店名：	
	TEL：	
		印



マイト工業株式会社



## マイト工業株式会社

- 本社 / 工場 〒547-0001 大阪市平野区加美北 4 - 5 - 6 TEL(06)6793-8531(代)
- 関東支店 〒333-0803 埼玉県川口市藤兵衛新田 30 - 2 TEL(048)297-9133
- 関西支店 〒547-0001 大阪市平野区加美北 4 - 5 - 6 TEL(06)6793-7000
- 札幌営業所 〒065-0011 札幌市東区北 11 条 17 - 1 - 28 TEL(011)788-4178
- 東北営業所 〒983-0023 宮城県仙台市宮城野区福田町 1-5-13 TEL(022)388-9611
- 関東北営業所 〒963-0117 福島県郡山市安積荒井 2 丁目 313 TEL(024)983-4123
- 中部営業所 〒456-0014 名古屋市熱田区中田町 1-21 横井ビル 1F TEL(052)682-3761
- 中国営業所 〒720-0017 広島県福山市山手町 2 - 14 - 40 TEL(084)959-3763
- 九州営業所 〒818-0131 福岡県太宰府市水城 2-8-8 ウェルズ R&K 4号 TEL(092)918-7707
- 特 販 部 〒547-0001 大阪市平野区加美北 4 - 5 - 6 TEL(06)4303-2211
- 特 販 部 〒333-0803 埼玉県川口市藤兵衛新田 30 - 2 TEL(048)297-9235